

「人」こそが、
飯館村の誇る「至宝」



春は出会いと別れの季節。3月、いいたて希望の里学園の卒業式、までの里の子ども園の卒園式が行われました。子ども達は村の「希望」であり「宝」です。

今年度も素晴らしい学習の成果を発表してくれた学園生。元気に、健やかに、明るく毎日を過ごしてくれた園児。そのしなやかな逞しさに、目から鱗が落ちることの連続でした。どうぞご卒業、ご卒園後も、すくすくと育っていただければと願っております。村でも多くの子育て支援メニュー（詳しくは3月号の16〜17ページをご覧ください）により、今後とも村民の皆様の子育てを全力でサポートしてまいります。

そして、皆様に朗報です！

この度「ジャパン・フード・セレクション」の最優秀賞である「グランプリ」を飯館村の自慢の産品の数々が受賞されました。ニコニコ菅野農園さんの「なつはぜ果汁のぼん酢熟成」、菓子工房Cocittoさんの「ガトー・ニイタテ（飯館風ガトー・バスク）」、肉のゆーとぴあさんの「飯館産黒毛和牛ステーキビーフ」「飯館村の牛飼いが煮込んだ、キーマ」、までい工房美彩恋人さんの「いいたて雪つ娘かぼちゃのペースト」「いいたて雪つ娘完熟かぼちゃのプリン」と、一つの自治体で4事業者の6品目すべてが一度に受賞したことはこれまでなかったそうです。グランプリを受賞するほどの質の高い産品を手間暇惜しまず育ててきた「人」こそが、飯館村の誇る「至宝」です。

私自身も震災前、そして震災後から現在に至るまで、職員時代から「農の再生」に力を入れ、現在さらには「農の発展」に取り組んでおります。それは村の農家さん、生産者さんが、葛藤されながらも、試行錯誤して挑み続けてきた過程とご苦労を知っているからです。皆様が受賞され、登壇してスピーチされているお姿を拝見して、思わず目頭が熱くなりました。まいました。あまりに多くの記憶が蘇り、感慨無量のひとときでした。

是非、皆様にもグランプリを受賞した産品をお手に取って味わっていただきたく存じます。飯館村のお土産としてもオススメです。

桜の季節も目前、季節の変わり目、お体に留意されながら、いいたての春を存分に楽しんでお過ごしください。

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味

あいらくふるさと

■ひとのうごき

誕生おめでとう

HAPPY BIRTHDAY!

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
青田 望花 ちゃん	大希さん 真恵さん	草野

結婚おめでとう

HAPPY WEDDING!

氏名	行政区
大内 良真さん	佐須
佐藤 萌々香さん	

ひとのうごき 令和8年3月1日現在

人口	今月（前月比）	2月1日～28日までの人口動態
●男	2,203人(-7)	転入 2人
●女	2,116人(-10)	転出 12人
計	4,319人(-17)	出生 2人
世帯数	1,783戸(-4)	死亡 9人
		(住民基本台帳人口)

おくやみ

氏名	年齢	行政区
高池 一元さん	70	草野
渡邊 ハルミさん	95	前田・八和木
高橋 明良さん	78	伊丹沢
鈴木 美津子さん	83	小宮
高橋 百合子さん	71	草野
菅野 和彦さん	78	比曾
齋藤 紀志さん	78	飯樋町

ご冥福をお祈り申し上げます

(2月16日から3月20日までに届け出のあったものを掲載) ※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

暮らしの耳より情報 ①家庭ごみの出し方 注意のポイントお知らせします

日頃より、ごみの出し方や分別に、ご協力をありがとうございます。新年度のスタートに合わせて、主な注意点を改めてお知らせします。



- 正しく分別し、●指定のごみ袋に入れて、●決められた収集日の、●朝8時まで、●指定の集積所に出しましょう。

●注意 ください ●ごみ集積所の管理は、地域の皆さんで行っています。他の地域のごみ集積所には出さないでください。ルール違反のごみは、「違反ごみシール」を貼って集積所に残します。

- もえるごみ(村指定の袋) →指定集積所
- もえないごみ(村指定の袋) →指定集積所
- 資源ごみ(市販の透明・半透明の袋) →指定集積所
- 紙類・段ボール・白色トレイ等 →行政区の定める集積所
- 粗大ごみの受け入れについてはお知らせ版等で別途お知らせします。

村指定ごみ袋販売店

北原商店、荒木屋、セブン-イレブンいいたて村の道の駅までい館店、ハシドラッグ飯館店

皆さんが広報委員！
いいたて PHOTO リレー



テーマは「飯館村の昔の話」
写真提供 佐藤俊雄さん
(草野)



「自分が子どもの頃は遊びといえばこの写真のような『ちゃんばらごっこ』や『おにごっこ』くらいでした」と話す佐藤俊雄さん(草野)。「今みたい遊ぶ物がなかったから、同世代の友人や兄弟と外で遊ぶしかなかったんです」と懐かしみます。2枚目は、昭和30年に行われた大雷神社の例祭で地域の子ども達を写した集合写真です。「この写真は私が小学1年生の時にお祭りに参加した時のものです。各地区で協力して作った手作りの山車が練り歩きとても賑やかでした。3年に1度のお祭りを見るために帰省する人も多く、飯樋町の通りに面した家庭が部屋を開放して、休憩や見物客の交流やもてなしの場所に提供する「宿(やど)」がありました。最近は見られなくなったようで寂しい限りです。素朴だけれど、地域にとって特別で、にぎやかな2日間のお祭りの雰囲気大好きでした。この雰囲気がこれからも受け継がれ、続いていったらいいなと思います」と語りました。



5月号 4/17締切
例えば…「お花見」「入学式」「ツツジ」「花粉症」をテーマに。

6月号 5/15締切
例えば…「こどもの日」「母の日」「新緑」をテーマに。

- 写真様式 データ、現物を問いません。
- 写真枚数 1掲載につき1〜2枚程度。
- 提出方法 電話で写真の詳細をお聞きした後、相談させていただきます。
- 選考 応募多数の場合は選考します。
- 報酬 1掲載につき1,500円。

問 村づくり推進課企画定住係(広報担当:巻野) ☎0244-42-1613